

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月6日

事業所名 ふくらKids・夢(ふくらトータルケア那珂)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		動く重心児が利用時は、柔らかい素材のパーテーション等を利用し安全を確保している。	動ける重心児、動けない重心児の環境配慮
	②	職員の配置数は適切であるか	○		利用者が定数の日は、可能であれば他部署からも職員のヘルプをもらっている。	職員教育を充実していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		バリアフリー化され、安全に配慮した環境になっている。	情報伝達への配慮に努めているが、強化していかなければならない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		環境整備に配慮し、スペースを作り安全に活動が出来ている。	毎日の環境整備を怠らず継続していく。
適切な支援の提供	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の全体勉強会や職員のスキルアップにつながる研修を受けられるよう検討しているため、継続していく。
保護者への説明等	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	①6 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	①7 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	①8 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援内の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		必要な共有はライン等にて行われている。定期的なミーティング内での情報は共有されている。毎日活動内容の振り返りを行い、次回につなげる。
	①9 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		利用者さんの変化を口頭で伝えるだけでなく、記録に残し支援の検証・改善を考えていく。
	②0 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	②1 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	②2 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	②3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関の担当者や相談支援専門員との連携は欠かせず、協力し合っている。	
	②4 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		連絡窓口への連絡等は欠かせず実施し、協力体制をとっている。	
	②5 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		相談支援専門員や関係機関の窓口で連絡をして、情報共有に努め、利用者さんの理解を深めてもらうようにしている。	保育園・幼稚園などと並行して当事業所を利用している利用者さんもいるため、より一層の情報共有に努めていく。
	②6 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として連絡が来た際は速やかに対応して、連携している。	
	②7 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			お子さんの発達支援の専門家である講師を招き、Zoom研修を開催し学びを深めているが、今後も受けられるようにしていきたい。
	②8 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ禍で外部機関との連携が難しくなっているが、オンラインでの参加も含め連携していきたい。
	②9 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳での連絡だけでなく、家族と連絡を取り確認しながら共通理解を深めている。	
	③1 保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		
	③2 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意をえているか	○			
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の連携を支援する集まりを今年度も開催出来なかったが、来年度は開催して行けるように準備していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルは出来ているが周知とそれに則した訓練は出来ていない。今後、マニュアルの見直しと周知方法を検討する必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		一部の職員の参加だけの訓練になってしまっているので、日々の療育活動の中に取り入れていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------

+